

頭が良くなる自習室

○久留米自習室は、ただいま5年2か月になろうとしています。この5年間毎年生徒が増え続けました。今年は、4月、5月、6月、8月で、なんと退会者が0名です！7月と9月からの退会者が少し出ましたが、みんな凄く頑張っています！

○なぜ、これほどまでに、生徒が続けられるのかと言いますと、自習室に全員座れる事にあります！久留米自習室は、定員を70名限定とさせていただいております。なぜなら、自習席が56席しかありませんので。だいたい、久留米自習室の生徒構成から申しまして、自習席の1.3倍ぐらいの生徒までが限界です。70名いますと、56名が同時に集まる事があります。それゆえに、70名を定員とさせていただいております。

○普通、塾や予備校は生徒全員が座れるだけの自習席を用意していません。ですから、塾や予備校の授業がない日に自習室に行っても、座れないのです。帰るように言われる生徒もいます。それでは、塾をやめてしまうのですね！頭が良くなるチャンスがないからです。

久留米自習室では、過去に一度だけ満席で座れなかった生徒がいました。九州大学法学部に、2016年に合格した明善高校の女子生徒でした。その生徒が2014年に通っていた時に、満席で飲食コーナーで勉強してもらったのがきっかけで、2015年から第二自習室を作り、70名まで入れるようにしました。56席もの自習席を準備いたしております。

○2000年頃まで、高校生が150人～250人いる教場を任されていましたが、九州大学に合格して行った生徒たちでさえ、「家では勉強できない！」と言っていました。しかし、2014年に久留米自習室から東京大学に合格した附設の生徒は、「家では勉強できない」と言っていました。つまり、今どきは東京大学に合格するぐらいの生徒でさえ、自習室へ行かないと勉強できないのです。「家では、家族がテレビなどで騒いでいるから勉強できない」という事ではありません。ある病院経営をされてあった教え子の親御さんが、庭にある書斎を我が子に利用させました。静かで、一人で勉強に打ち込める自習スペースです。しかし、その教え子は全く勉強できませんでした。なぜ、自習室に来ると勉強できるようになるのかと言いますと、周りに勉強している先輩・後輩・同級生がいるからです。それが刺激になって、「自分もやらなきゃ！」と勉強します。家では、周りに競い合えるライバルがいません。

○2016年に久留米自習室から西南学院大学に推薦合格した東明館高校の生徒は、母親が毎日のように車で連れてきていました。初めは全く勉強しなかった子でしたが、徐々に勉強するようになり、最後は西南に推薦合格できるようになりました。「勉強の習慣がついていく」のですね。その母親の粘り勝ちでした。高2の時は、推薦が取れるように、私が数学を教えていました。高3からは数学がない私立文系のクラスに入りましたので、英語の先生の指導に切り替えました。推薦を取るためにも、日々の自習は大事ですね！

○久留米自習室では、高校生や中高一貫の中学生のために、1000枚の「受験マニュアル」を作っています。毎日10枚ずつ渡しています。上の2016年に九州大学法学部に合格した明善生も、自習だけで九大合格です！本気で、高1や高2の頃から自習していれば、塾や予備校の授業を受けなくても、学校の授業と久留米自習室だけで合格するものです！